

うるま市勝連ホワイトビーチへの遠征打撃部隊入港に関する抗議決議

去る5月20日米カリフォルニア州サンディエゴ海軍基地所属の強襲揚陸艦ボクサー(40,532トン)を中心とする遠征打撃部隊が、同日午後沖縄県や本市に連絡が無いままに勝連のホワイトビーチに初めて入港した。

同部隊はほかにミサイル駆逐艦ポール・ハミルトン、ジョン・ポール・ジョーンズ、ドッグ型揚陸艦フォートマクヘンリー、ミサイル・フリゲート艦ロドニー・M・デビスで編成されている。

新聞報道によると、海南島の中国南海艦隊基地の動向をにらんで、ミサイル防衛の範囲を日本海から東・南シナ海へと拡大しつつある米軍が、ミサイル防衛作戦の司令部分遣隊をホワイトビーチに置く準備に入った可能性がある」と軍事専門家が指摘している。

これまで、ホワイトビーチには原子力潜水艦の寄港が繰り返され復帰後228回に及び、地域住民を永年にわたり不安に陥れている中、さらに遠征打撃部隊の入港は全くの人権軽視であると言わざるを得ない。

沖縄の基地負担軽減が焦点となる米軍再編論議が進む中、遠征打撃部隊の入港は更なる基地機能強化に繋がるもので、断じて容認することはできない。

よって、うるま市議会は市民の生命・財産を守る立場から今回のホワイトビーチへの遠征打撃部隊入港に厳重に抗議するとともに、下記の事項について強く要求する。

記

1. ホワイトビーチへの遠征打撃部隊入港に断固反対する。
2. ホワイトビーチへのミサイル作戦司令部分遣隊の配置に断固反対する。

上記のとおり決議する。

平成 17 年 5 月 31 日

沖縄県うるま市議会

あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米軍四軍調整官
在沖米国総領事